



日本臨床歯科補綴研修会15周年記念特別講演

補綴装置の“天井”と“底”の基準を明確にする



K. Koide



M. Kuwata



Y. Nishikawa



H. Hoshi

我々JCPDSの目的は、補綴治療にあたってもっとも重要なその診断的、治療的基準を完全に明確にすることです。それにより、誰もが長期的な残存組織の保全と機能回復率向上の両立を目指した安全な補綴治療を行うことができると考えるからです。適切な補綴治療による歯列の再建と保全は、歯科の特徴で最も重要な顎口系の機能を健康に長期間維持する役割を果たし、人の生活の質に大きな影響を及ぼします。JCPDSは、診断的基準において①病態診断、②発症メカニズムの診断、③エンドポイントの3つの診断が不可欠と考えます。これらを的確に行うためには、まず顎口系の機能解剖を含む基本的な事項を認識することが重要となり、それにより漏れのない診査を行的確な診断が出来るのです。

今回は、本学会が後援する研修会の15周年記念として“補綴装置の天井と底の基準を明確にする”をテーマに歯頸部から咬合面までの冠の適正なエマージェンスプロファイルとは？軸面形態とは何か？中心咬合位の接触関係はどうあるべきか？などの治療的基準を明らかにします。どなたもふるってご参加ください。

日本臨床歯科補綴学会会長 西川義昌

12:00～ 適正なクラウンカントゥア、エマージェンスプロファイルとはどういう形態か？

桑田 正博 (愛歯技工専門学校校長)

13:00～ 補綴装置内部構造としての支台歯が有すべき形成基準

西川 義昌 (代々木上原デンタルオフィス)

14:10～ 補綴装置を顎機能に調和させる咬合構成の7要素とは

小出 馨 (日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座教授)

15:10～ 咬合構成の7要素による診断用ワックスアップの基準と臨床の実際

星 久雄 (星デンタルラボラトリー)

(敬称略)

16:15～ 4名によるパネルディスカッション

(JCPDS会員講演) 明確になった基準を臨床で具体化する

17:00～ 「シングルクラウンの治療をモデルにした診査診断の重要性」

大西 一男 (おおいし歯科医院)



17:30～ 「顎口系諸組織との調和を図るコンプリートデンチャーの印象」

宮本 績輔 (宮本歯科医院)

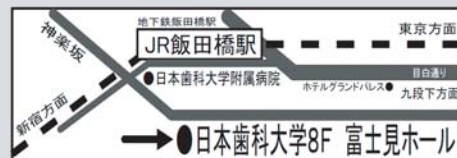


日時：平成20年3月29日(土)

12:00～18:00

場所：日本歯科大学 8F 富士見ホール

東京都千代田区富士見1-9-20



参加費 歯科医師 10,000円 / 歯科技工士・歯科衛生士 5,000円 / 学生 1,000円

事務局：申込先 〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-34-6 旭ヶ丘歯科クリニック内
日本臨床歯科補綴学会事務局 電話：022-275-2911

振込先 みずほ銀行 仙台支店 普通預金 4133629
日本臨床歯科補綴学会 事務局 渡辺正宣(ワタナベマサノリ)

日本臨床歯科補綴研修会15周年記念特別講演 2008/03/29 申込書 FAX:022-275-2918

医院名		TEL
住所		FAX e-mail
参加者名	_____	参加費合計 参加費は事前のお振込みにご協力ください 円

e-mail : 15th@jcpds.jp

http://www.jcpds.jpからもお申込みいただけます